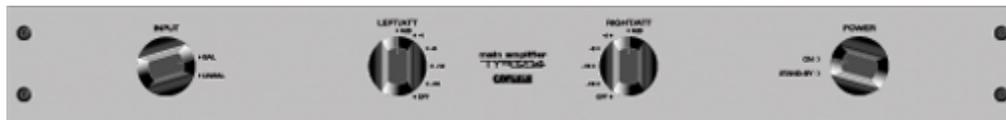


# TYR1214

## プリアンプ

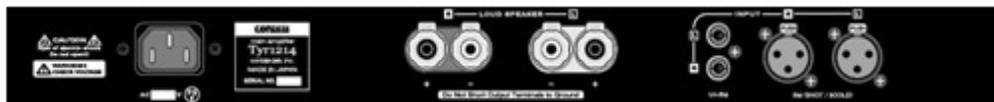


main amplifier  
**TYR1214**

**AEx**  
オーディオ誌  
オーディオ誌  
Audio Excellence Award 2008

**VGP**  
2008  
SUMMER  
オーディオ誌  
クラフプリ

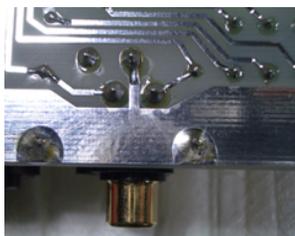
第1位



TYR1214は、TYRシリーズ・パワーアンプです。スモールサイズで軽量にもかかわらず、コニシスならではの高音解度や高駆動力、透明感はそのま C Lシリーズから受け継ぎつつ38w/chのパワーを生み出し、高音質パワーアンプは大型でヘビーウイトでなければならないという、パ潤[アンプの常識を覆すアイテムとなっています。

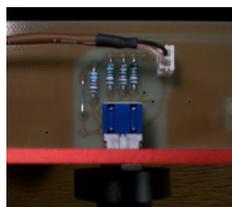
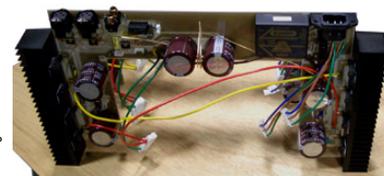
入力はバランスとアンバランスの2系統でパネルはコニシスのオリジナルであるコニシスレッドにサンドブラッシュ、そしてノブはTYRシリーズ・オリジナルのアルミ削り出しフィニッシュでいっそうハイグレードなイメージになっています。

そのモダンなデザインはプリアンプTYR1213と共通デザインとなっており、ヘアでお使い頂くことによりデザイン性はもちろんのこと、さらなる高音質も実現でき、更なるそのシナジーによって、よりアトラクティブなオーディオライフを実現します。

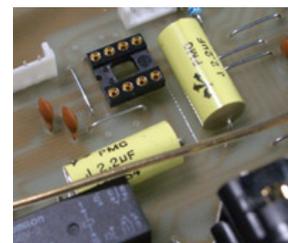


コニシスの機材は1台1台熟練のオーディオクラフトマンによって、丁寧にハンドメイドで作られています。その差が如実に現れるひとつは半田付けです。信号が通過するPCBのパターンやワイアリングは、半田の固まり方のよって著しく音質の劣化が起こります。コニシスでは熟練のクラフトマンによって、最も高音質な信号の通過が行なわれるような半田付けを1カ所づつ丁寧にこなしています。

コニシスは機材内において、無駄なワイアリングによる音質劣化、またクラフトマンによる音質の変化を避ける為、機材内のワイアリングを可能な限り少なくしています。また数重なる実験の結果、電源の平滑コンデンサの容量はパワーが大きいほど容量も大きくないとかなり音に影響を与えることを確認しました。TYR1214のような38W/chクラスの場合、最低90000 $\mu$ Fは必要です。厳選した高音質電解コンデンサ15000 $\mu$ F $\times$ 6を採用し対応しています。



ボリュームは音質劣化の最たる部品です。TYR1214ではボリュームを排除し、さらに音質劣化がもっとも少ないロータリースイッチを厳選して、高精度の金属皮膜抵抗を切替える方式をとっています。



オーディオDCアンプのにとって信号経路のカップリングコンデンサは音質の要といえます。高音質で知られるポリカーボネイトフィルムコンデンサが世の中から消えつつある中、イタリアのデマ社から取り寄せたポリカーボネイトフィルムコンデンサを使用しています。



バランス及びアンバランスの入力、そしてプリアンプにはパーブラウン社のオペアンプ OPA2604APを採用。数々のオペアンプを度重なる実験した結果、最も高音質であり採用されました。

パワー段電圧増幅部に採用されたパーブラウン社のOPA604AP。これはプリアンプで採用されている OPA2604APのシングルタイプです。コニシスのパワーアンプは最高の音質を確保するために、全ての機種がDCアンプになっています。その為、1台づつ丁寧にDC調整をして出荷する必要があります。OPA604APは高音質でありながら、DC調整入力があり採用されています。





スピーカー出力端子には数々の高級機種に採用されているW B T社の端子を採用しています。ハードワイアリングによる音質劣化を極力避ける為、高音質の金メッキの単線を厳選し、最短距離にて結線されています

出力段にはMOS-FETの2SK2467と2SJ440のペアが2ペアで装備してあります。出力段の半導体はパワーが必要だからといって、むやみに数を増やしているアンプが多々ありますが、半導体もひとつずつ微妙にバラつきがある為、並列に通過させると音質劣化が如実におこります。TYR1214ではパワーを出しつつ音質劣化を避ける為、2ペアを採用しています。またバイポーラトランジスタではなくMOS-FETを採用して、DCアンプの最大の欠点であったサーマルランナウエイを避けることで、音質劣化無く製品の信頼性をあげることに成功しています。



パワードライブ用のメインスイッチング電源。スイッチング電源は、発売当初は出来が悪いものが多かったのですが、最近のものはトランスとブリッジの旧態然の回路より音質的に優れたものが多くなりました。またトランスとブリッジによってパワー段に電源を供給しているパワーアンプのほとんどが、レギュレーターを採用していない為、正確なDC電圧を供給できていませんでした。スイッチング電源は、レギュレートされた大容量のDC電源がパワー段に供給できるというメリットがあり、より高音質を確保できます。

入力コネクタにはバランスインがスイスノイトリック社のコネクタを使用。ノイズ対策品の金属シェルタイプ。アンバランスには金メッキのRCAピン入力を使用しています。



## 製品仕様

### 入力

- 入力数 2チャンネル(ステレオ)
- 入力端子 XLR3-31タイプ(キャノン メス) バランス:1系統 (1 : GND /2 : HOT /3 : COLD)  
RCAピン アンバランス:1系統
- 入力インピーダンス 30k $\Omega$ (バランス入力/アンバランス入力)
- 入力感度 0.8V(バランス入力/アンバランス入力)

### スピーカー出力

- 出力数 2チャンネル(ステレオ)スピーカー
- 出力端子 ダブルポールターミナル(WBT-0735)ペア:1系統 \*最大ケーブル径5.5 $\phi$
- 定格出力 38W/4 $\Omega$ (デュアルチャンネル)
- 周波数特性5Hz~100kHz

### 寸法、その他

- 外形寸法(突起部を除く) 433W $\times$ 49H $\times$ 243D(mm)
- 重量 4.0kg
- 電源電圧 AC100V
- 最大消費電力 0.15W(STANBY) 120W(ON)
- 付属品 ACケーブル、取扱説明書、保証書